

平成 19 年度のとりまとめの指摘に基づく取り組み状況について

リコール検討会の平成 19 年度のとりまとめで「自動車ユーザーへの情報提供の充実について」指摘された事項について、検討状況は以下の通りである。

1. 自動車の不具合に対するユーザーの関心を高めるための情報提供について

(1) 自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報の統計的分析結果の公表について

現在、自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報について、以下の項目毎に分析することを検討中である。

分析結果について、本年度内の公表を目指している。

(分析項目案)

不具合情報件数の推移

過去 5 年間の不具合情報件数の推移グラフを作成し、前年度と比較し評価する。

年式別

初年度別に区分し、前年度と比較し評価する。

車種別

乗用車、貨物車、乗合バス等の車種別に区分し、前年度と比較し評価する。

装置別

操縦装置、制動装置等の装置別に区分し、前年度と比較して評価する。

年式・装置別

どの年式において、どの装置の不具合情報が多いかを評価する。

走行距離・装置別

不具合が発生した走行距離を区分し、どの装置に不具合情報が多いかを評価する。

(2) 自動車や部品の不具合が原因と疑われる事故や火災としてメーカーが国土交通省に報告した情報の公表について

現在、自動車や部品の不具合が原因と疑われる事故や火災の具体的な公表方法について、自動車メーカー等との調整を行っている。

自動車メーカー等からは、公表に当たって、事故や火災の原因が明確でない情報について、全てが自動車の欠陥によるものであるというような誤解を与え、ユーザーの不要な混乱を招くようなことがないよう配慮した公表方法とするよう意見が出されており、その公表方法について検討中である。

2. ユーザーへのより具体的で分かり易い情報提供について

自動車工業会において、ユーザーへのより具体的で分かり易い情報提供の方法を検討中。